

# End Polio Now

## パキスタンでポリオと闘う

ポリオ撲滅ゾーンコーディネーター（第2ゾーン） 坂本 俊雄（東京八王子南RC）

北アメリカと南アメリカ地域のポリオ撲滅が宣言されたのは1994年です。続いて西太平洋地域が2000年に、ヨーロッパ地域は2002年、南西アジア地域は2014年に撲滅宣言が出されています。ナイジェリアが2015年7月にポリオ常在国のリストから外されましたが、残念ながら2016年8月6日に3例発生してしまいました。

パキスタンとアフガニスタンの発症数は2015年12月末でパキスタン54例（2014年度306例）、アフガニスタン20例（2014年度28例）ですから、激減しているのは確かです。しかし、2016年7月27日現在、パキスタンではすでに14例、アフガニスタンでは8例の発生が報告されています。パキスタン北部の平均気温は4～10月でも30度を超えていますし、特に6月は38度ですから、ポリオ患者の増加が懸念されます。

ポリオの現状を把握するため、2015年10月、小沢一彦国際ロータリー（RI）インターナショナルポリオプラス委員と、江崎柳節2012～15年度ロータリー財団地域コーディネーターとともに、パキスタンにポリオの調査に出かけました。

### 国境地帯に残るポリオ

パキスタンでのポリオの発症はアフガニスタンと国境を接するFATA（Federally Administered Tribal Pakistan）



Areas) という連邦直轄部族地域と、隣り合ったカイバル・パクトゥンクワ州（KP州・北西辺境）に多いのです。FATAの人口はパキスタンの約2%ですが、パキスタンのポリオ発症の60%、KP州の人口は約12%ですがポリオ発症の約20%となり、このアフガニスタンと接するFATAとKP州だけで80%を占めていることになります。

FATAはパキスタンでは特殊な辺境の地で、パキスタンの法律は適用されず伝統的な部族法が適用されています。すなわち民族・部族独特の法律、慣習法というべきものが現在も生かされているのです。したがって、部族が自治権を持ち部族長の強い権限があるためワクチン接種が難しかったのです。またワクチンを接種すると妊娠しなくなる、奇形の子が生まれると信じられている地でもありました。

この2つの地域は、ソビエト連邦（当時）が、1979年にアフガニスタンに侵攻すると、多くの難民がパキスタンへ避難、パキスタン軍が侵攻すると、FATAのパキスタン人がアフガニスタンに避難するという国境地帯で、宗教も教義も同じ民族が多いのです。また、国境といっても検問所があるわけではなく、昔から遊牧民は自由に往来していたのですから、ワクチン投与を受けていない子どもが多くいます。この地のポリオ感染者がパキスタンのほかの州に移住すると、各州でまたポリオが発生するという悪循環です。

このFATAやKP州では2012年からポリオワクチン接種を中止していたのですが、2015年7月から再開され、逃げ出した難民も避難先でポリオワクチンを受けています。

### ロータリーのパキスタンへのポリオ撲滅支援金

RIの資料では、ロータリーは今日までパキスタンのポリオ撲滅に1億2,580万ドル（2016年3月現在）を投入しましたが、2016～19年はさらに5億9,300万ドルが必要とされています。また2014年、日本政府はUNICEFを通して5億6,200万円をパキスタンに無償提供しました。これを使ってUNICEFは、経



(Polio Worker) が 80 人も殺されています。先進国と違って医療施設で接種を受ける乳幼児は少なく、訓練を受けて生ワクチンの経口接種をするのがポリオワーカーです。さらに彼らはポリオキャンペーンと戸別訪問を行っています。接種済みの子どもには指に紫色の印を、ドアには日付を記入している姿は『ロータリーの友』にも何回も掲載されています。

今年の 1 月 13 日にはパキスタン西部のパロチスタン州都のクエッタで、ワクチン接種施設の近くで自爆テロがあり犠牲者が出ています。また、ポリオワクチン接種関係者を警備していた警察官らが攻撃を受け、15 人が命を落としています。

口生ワクチン 1,500 万回分、1 人に 3 回服用させますから 500 万人分というわけです。パキスタンの新生児は年間ほぼ 400 万人生まれますから、1 年間に接種する量を若干上回る分量です。いかにポリオ撲滅が難しいのか、理解されたと思います。

さらに不活化ワクチン 130 万回分（約 25 万人分）を調達し、FATA 地域とカラチでのポリオ感染のリスクの高い地域の子どもたちに優先的に接種しています。さらに停電時でもワクチンを低温で保管できる自家発電機と温度管理システムを FATA と KP 州とパロチスタン州にも設置しました。イスラマバードで同じようなワクチン保管タンクを見ましたので、同じようなことにもロータリーの支援金も使われていると思います。また在パキスタン日本大使館の発表では、日本政府が 1996 年から 2014 年末までパキスタンのポリオ撲滅に 1 億 4,900 万ドルを支援したそうです。

### パキスタンにポリオが残った背景

2007 年にはパキスタンのポリオは年間 32 人まで減っていましたが、その後、国内の政治状況、国際情勢の影響を受け、この時期にイスラムの神学校の学生に政府が干渉したため、状況が変わりポリオ患者が増加しました。

2015 年 9 月末までの過去 20 か月にポリオワーカー

部族地区 FATA でのパキスタンの

### ロータリークラブとポリオワーカーの取り組み

2016 年 3 月初旬のパキスタンからのニュースによると、ペシャワール・ロータリークラブ（RC、第 3272 地区）は部族地区 FATA で 6 人の医師と 6 人の医療スタッフとともに辺境の村人の健康診断を行い、同時に 5 歳以下の子ども 295 人にポリオワクチンの接種を実施しています。

このペシャワール RC は、KP 州の 35 の婦人団体の人たちに看護師学校で携帯電話の使い方を教える傍ら、地域のポリオコントロール室で、ポリオプラス委員会とともに RI が作成したポリオワクチンの効果をビデオで流しています。人気歌手がポリオに感染した少女のことを語り、経口生ワクチンを 2 滴、内服させるビデオを、KP 州で 2011 年から一斉接種日に見せています。いくつかのロータリークラブがポリオワクチンをこの地に提供しています。さらに、地域のリーダーや学生たちがポリオ発生地セミナーを開催しています。

FATA 地域を通るアフガンハイウェイでは、バスや車を止めて 23 人のポリオワーカーが、月に 2,700 人の



# End Polio Now

子どもに経口ポリオワクチンを接種しています。さらに2015年からFATA地域とKP州では、5歳以下の子ども25万人、10歳以下の子ども45万人に、戸別訪問などで生ワクチンを1人の子どもに3回内服させています。

まだ緒についたばかりですが、アメリカ製の「I Got You」と呼んでいる20ドルの容器にポリオワクチンを入れ、辺境の地にドローンで運ぶことが可能になっています。

## スラム街での接種

貧しく職のない家族が都市に集まってスラムを形成します。子どもたちは小学校へ入学するのですが、弟と妹の世話や親の理解がないために長期欠席、不登校生が多く発生、半数の子どもが小学5年生で退学しています。男子の約6%は病気や障がいで学校に通ったことがありませんし、識字率は16歳で60%です。女子の65%は入学させしていないのが実情です。

ポリオ撲滅には「キャンペーン用の小型車」に黄色のジャケットを着たポリオワーカー2人がチームとなって戸別訪問を行っています。私たちが銃を携えた自警団員に守られ町はずれの一つのスラム街へ入りました。

ごみが投げ捨てられた流れのない川とも水たまりとも区別がつかない土地に住み、粗末で電気もない家屋が軒を連ねています。昼でも薄暗い一部屋に数人の家族で住んでいるのです。私たちが到着すると人一人通っていない狭い道に、あっという間に子どもたちであふれました。



人なつこく、かわいらしいのですが、たまに出てくる母親たちは顔をベールで覆い痩せ過ぎています。

都市のスラム街ではポリオワーカーが年に数回訪れますが、必ずしも親がいる時とは限らず、ワクチンが接種できる子どもは約75%であると言われています。

## 終わりに

パキстанは、インダス川流域の文明の発祥地で約5000年前にはモヘンジョダロやハラッパという古代の文明都市が繁栄していたことは、よく知られています。古代からの部族や民族の子孫も引き続き定住しており、インダス川流域に80%が住み、宗教は95%がイスラム教徒ですが、いくつかの宗派があり、それぞれ対立しています。ヒンズー教徒が2%、そのほかキリスト教徒やゾロアスター教徒、シク教徒もいます。また現在も独立

を求めている州もあり、主義主張が異なり統一がなかなか難しい国家です。しかもパキスタン人のギリシャやトルコへの難民も報告されています。

国土は日本の約2倍、人口は1億9,000万人近くで、新生児は日本の4倍の年間400万人が生まれ、乳児死亡率は対1,000人当たり47人と、日本の10倍、妊産婦死亡率は日本の28倍という国でもあります。

(第2750地区 パストガバナー)

